

（１）第８回碧南市景色づくり委員会が出された主な意見について

- ◆日時：平成２５年１月１１日（金）午後１時３０分～午後３時４５分まで
 ◆議題：景観計画（素案）について（第３章、第６章（現計画の第５章））

【第８回景色づくり委員会が出された主な意見】

意見	意見への対応
チェックシートについて	
当初は建築面積に関わらずすべて提出の対象としていたが、建築士会より意見が出された。小規模の建物もチェックシートの対象に含めると負担が増える。啓発ならパンフレットを配布するだけでも良いと考える。	議題（２）にて説明
通常の住宅は 100 ㎡ぐらいであり、建築面積 250 ㎡以上とすると、大半の住宅が該当しなくなってしまう。それではほとんど意味がないものとなってしまう。	
景色を守るのならば早い段階から取組まないといけない。大型店舗だけが一生懸命行うのではなく、小さい住宅のことも考えたほうがよい。	
書類を提出に来なくても市HPで電子データをやり取りする方法も考えられる。景観計画のパンフレットを読むこととチェックシートに記入することは異なる。	
負担を減らす工夫は検討すべきであり、目的にあった合理的な方法を模索すべき。	
チェックシートに記入すること自体はそれほど大変ではない。施主に納得してもらうことに負担がかかる。	
地域説明会の開催について	
地域説明会は事業者、行政、市民がお互い景色づくりのために必要な情報を共有することである。地域相談会を開催することの課題として、事業者や設計者にとっては手続きや費用等の負担がかかることが考えられる。 場所を借りて相談会を実施するのではなく市HPで意見を述べるページを設けることも効果的だと思われる。	景観計画策定後の運用改善として、見直し時に検討を行っていく。
地域説明会は建築面積 750 ㎡を超えるものでは規制が強すぎると感じる。	議題（２）にて説明